



合格体験記



氏名：U.N.

【合格した自治体(校種・教科)】

奈良県（中学校・理科）

Q 採用試験に向けて・・・

①いつから勉強しましたか

3回生の1月くらいから

②どのような教材を使っていましたか

時事通信が多かった。特に教職教養中心。

③勉強方法

最初は答えを見ながら一通りやって、その後はひたすら問題を解きまくった。

④一日何時間勉強しましたか

多い時はトータル5, 6時間くらい。少ない時は1時間もやってない（笑）

⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

埼玉・愛知・大阪・奈良共通して面接に重点をおいた。埼玉のときに地域に関する質問が何個かきたので、その後の自治体は地域に関することを重点的に対策した。でも、基本は変わらず、志望動機と自己PRを入念にチェックしていた。

⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

1次通ったのが奈良だけでなにも情報がなかった。というのも、奈良県は本年から少し試験方法が変わった（去年までは専門が1次にあったのが2次になったなど）ので、特別な対策は個人面接と模擬授業くらいで、筆記にかんしては今までどおりにやった。模擬授業は理科は範囲が広い（分野が多い）ので、いろんな自治体の過去の傾向を探して対策した。

⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

救世主！

⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

教員採用試験が終わるまでは8：2で教採だった。

⑨バイトやボランティアはどうしていましたか

スクールインターシップに1度参加しただけ。バイトは続けた。これは、教員に役立つことだったのでやめるほうが自分に利益がないと感じたから。実際に面接でもバイト関係の話をした。バイトを続ける続けられないはものによると思う。

⑩挫けそうになったときどうしていましたか

来年があるさ！と開き直った

⑪大学生活中にやっておいたらいいこと

子どもと接する機会を多く持つこと。

Q これからどのような先生になりたいですか

生徒や保護者の心に残る教師

Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

4回留年した私でも合格しました。合格する人もいれば残念ながら合格できない人もいるでしょう。しかし、あきらめなければ夢はかないます。そして、夢に向かって努力することは素晴らしいことです。その努力は教員だけでなく他のことでもあなたの力になるでしょう。だから、迷わず夢に向かって走って行ってください。一足先に教壇で待っています。